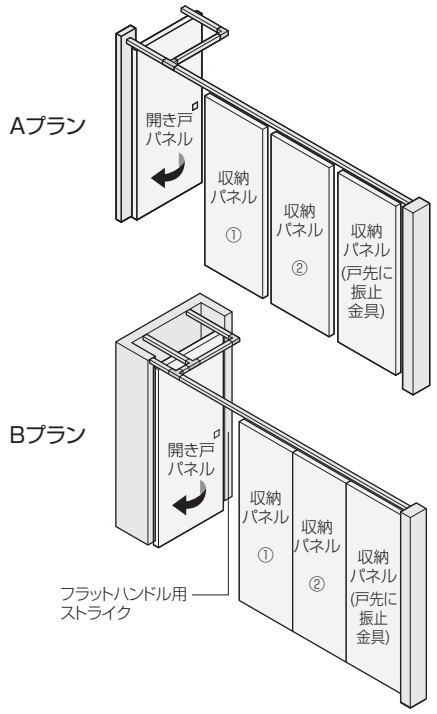
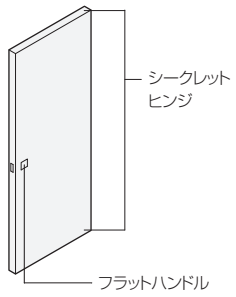
設計ガイド

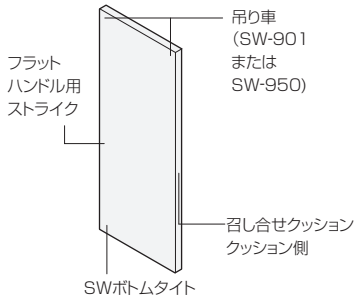
■パネルの種類と取付け金物



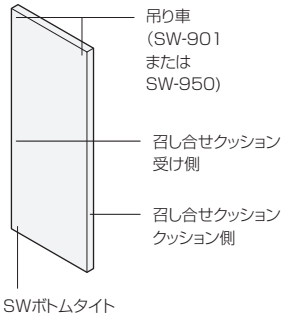
●開き戸パネル



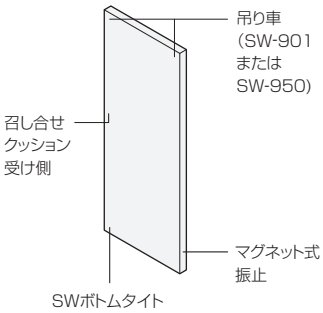
●収納パネル①



●収納パネル②



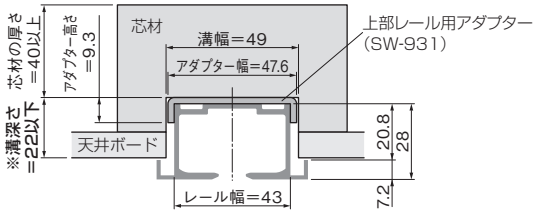
●収納パネル
(戸先に振止金具を取付ける場合)



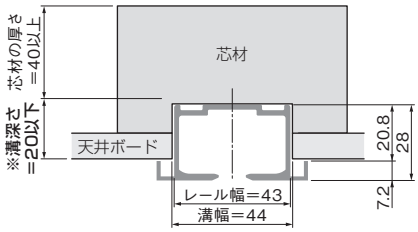
■レールを取付ける芯材・溝深さについて

パネルの重みで天井が垂れ下がるおそれがあります。
レールを取付ける芯材は、あらかじめ十分な強度を持たせた構造にしてください。

アダプターを使用する場合



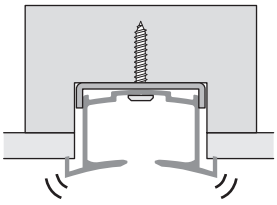
アダプターを使用しない場合



ご注意

●ツバ付きレールの溝深さについて

※溝深さは、仕上げを含む天井の厚さと芯材の溝深さを合計した寸法です。
※溝深さが指定寸法より大きいと、溝の底面とL型継ぎ・T型継ぎ天面の間にすきまができ、ねじ止めした際にL型継ぎ・T型継ぎが変形してしまいます。
それにより、直線レールとL型継ぎ・T型継ぎに段差が生じ、吊り車が引っ掛かるなど、円滑な操作が行えなくなります。

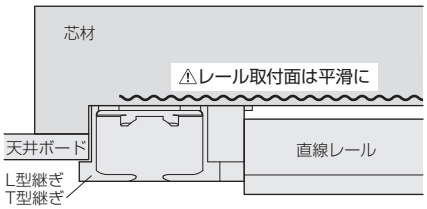


●ツバなしレールにアダプターを使用する際の溝深さについて

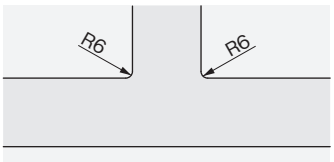
※溝深さを10mm以上にすると、アダプターの露出を防ぐことができます。
ただし、レール下面を鉛直下から見上げると、アダプターの板の厚み(2.3mm)が見えます。
※溝を掘らずに面付にすると、アダプターが露出し、アダプターを取付けていない部分からは光漏れが生じます。

ご注意

●アダプターを使用しないとき
L型継ぎ・T型継ぎとレールを接続する取付面は、上下方向に段差が生じないよう、平滑にしてください。
段差が生じた場合、段差に吊り車が引っ掛かり、円滑な操作が行えなくなります。

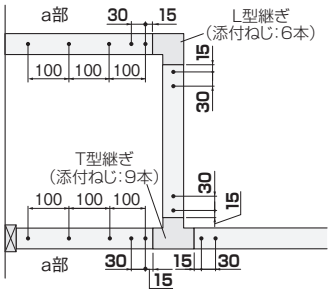


●アダプターを使用せずレールを埋め込む場合、L型継ぎ・T型継ぎ溝の内側には、**R6の加工**が必要となります。



※図は、T型継ぎの場合

●全開したパネルがまとめて収納される箇所(下図a部)の上レール(SW-900またはSW-920)のねじ穴間隔は100mm以下にしてください(標準品は、ねじ穴間隔300mmです)。
●ねじ長さはパネルの質量を考慮のうえ、お選びください。
●レール取付け面には段差を作らないでください。
●レールの継ぎ目は必ずそろえて、段差ができないようにしてください。
●収納パネルを収納した際、すべてのパネルがa部に納まるようにしてください。
●T型継ぎ、L型継ぎに、吊り車が長時間留まることのないように設定してください。



●L型継ぎ・T型継ぎに接する直線レールは、端部から15mm・30mmの位置にφ6の貫通穴を加工し、L型継ぎ・T型継ぎに添付されているSW-930(誘導板)を貼付けてからねじ(ノンヘッドコーススレッド 4.8×45)で止めてください。